

ホウ素を含む複合肥料を利用した‘甘平’の硬化症軽減

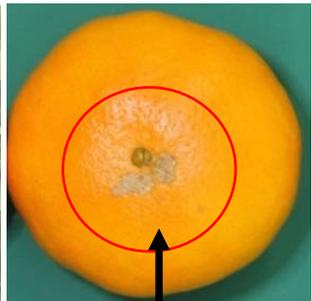
甘平は、硬化症(8月上旬以降のかさぶた症状、収穫時の果頂部硬化)が問題となっている。原因の1つは、ホウ素欠乏であるため、発生園ではホウ素剤の1000倍液を2回以上散布しているが、ホウ素を含む複合肥料の土壌施用も効果がある。

硬化症の症状

果皮の症状

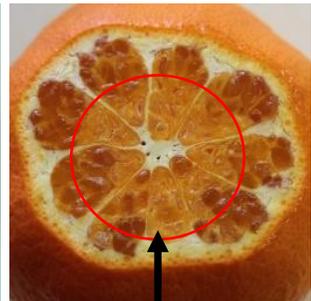


かさぶた状



果皮が赤くて硬い

果肉の症状



す上がり症状

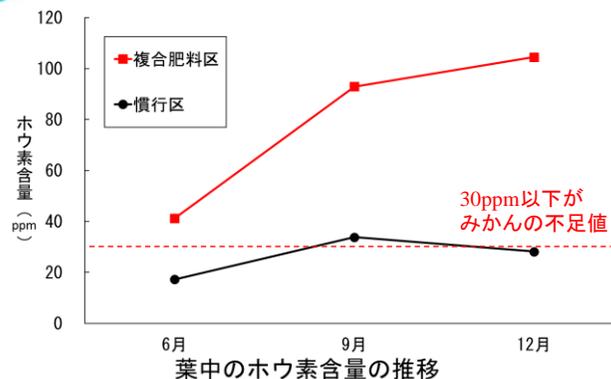
【供試肥料】

複合肥料区: 熔成微量要素複合肥料(商品名: 甘平ちゃん)

(N・P₂O₅・K₂O・B=10・6・7・0.15%, 有機率54.5%)

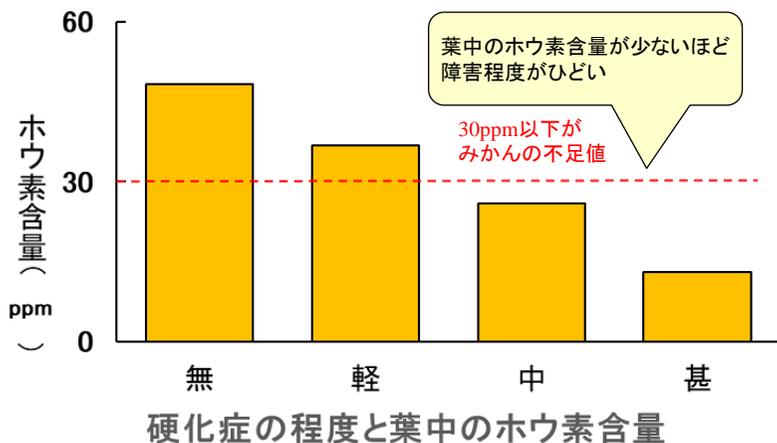
慣行区: 有機複合肥料(N・P₂O₅・K₂O=10・8・8%, 有機率60%)

肥料の種類と葉中のホウ素含量



複合肥料の土壌施用(3月上旬、6月中旬、9月上旬、11月上旬)により、葉中のホウ素含量は適正值まで高まった。

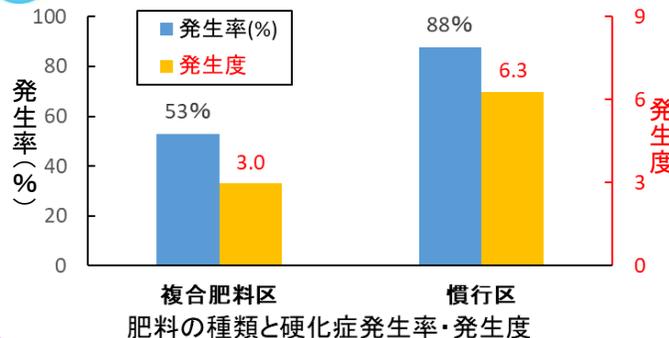
硬化症の程度と葉中のホウ素含量



葉中のホウ素含量が少ないほど障害程度がひどい

30ppm以下がみかんの不足値

硬化症の発生率・発生度



硬化症の発生率は、慣行区より約4割減少し、発生度(程度)は、慣行区の中程度(6)と比べて、軽程度(3)で軽かった。

ホウ素は適正域が狭いため、過剰にならないよう注意するとともに、土壌pHを5.5~6.3に保ち、ホウ素を吸収しやすい土壌状態を心がけましょう